

令和7年度 さいたま市立土呂中学校第3回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和8年2月19日(木) 10:50~12:20

2 場 所 土呂中学校 特活室

3 出席者 省略

欠席者 省略

【次 第】

4 学校運営協議会

(1) 会長あいさつ

(2) 学校評価に関する協議

① 校長あいさつ

② 学校予算執行報告

③ 学校教育活動報告

④ 土曜チャレンジスクール実施状況

⑤ 学校評価・学校自己評価システムシートの説明

⑥ 学校自己評価システムシートに係る協議

- ・ 2グループに分かれる
- ・ 今年度の評価できる点、改善・検討する点を協議
- ・ 各グループで発表

(3) 次年度の学校運営に関する基本的な方針の説明

(4) 仮承認

(5) 各協議会委員より

(6) 諸連絡

- ・ 次年度開催予定 例年通り1学期の予定

(7) 閉会あいさつ

(8) 事務連絡

- ・ 学校運営協議会委員へのアンケート依頼 3月16日(月)まで
- ・ 卒業式の御案内について
- ・ 学校運営協議会委員の任期及び来年度の委嘱について



校長による学校自己評価システムシートの説明



授業見学や6組の校内販売会を見学

1年間の任期であること。
新年度に入ってから連絡させていただく。

5 議事録概要

(1) 学校自己評価システムシートについて

【評価できるもの】

- ・ 自己評価のBもあるが、A相当の取組が多数ある。取りこぼしのない支援と保護者への分かりやすい発信がより効果的となる。
- ・ 土呂中学校はよくやっている。
- ・ 地域の文化資源を用いた授業・成果発表・教員研修を全国的にも先進的に実施している。

- ・ボランティア活動が根付いてきた。しかし、数値としては低いのが残念である。
- ・小学校では、地域の行事に参加するよう勧めている。中学校ではボランティア参加として地域に関わっており、小中でリンクしている。

【改善・検討するもの】

- ・共通行動し、学校・地域・保護者とともに学びの質の向上に取り組むことが大切である。
- ・授業冒頭の目標明示→小テスト→相互採点→振り返りなど、共通構造の整備で質保証をする。
- ・心のサポートのスタンス（傾聴か助言か）も校内による共通理解で対応する。
- ・下校時の歩行マナーの一層の指導・見守りの徹底を実施する。

【次年度への課題】

- ・「食育」の研究発表の年度なので、各教科の専門性を生かした授業化に期待したい。また、成果の可視化と共有する。
- ・学校環境として、エアコンの修繕を早急を実施する。



グループごとに協議

(2) 運営協議会委員より

- ・子どもを地域が称賛・感謝する仕組みが意欲喚起に資する。
- ・危険箇所（外灯・カーブミラー・標識等）の地域共有と連携要請を継続。
- ・「トライ」等の外部講義の校内実施があると聞いたが、実施はないと確認とれた。
- ・スタディサプリは継続（切り捨てが起きない運用を学校として重視）して欲しい。
- ・来年度、県美術教員研修の全体会実施予定。